

鳩ヶ湯附近の鳥相

林 武 雄

大野市上打波、鳩ヶ湯附近は、白山国立公園の一部、つまり白山のはば南西部に位置する山岳地帯（低山帯、海拔約500m～亜高山帯海拔約1,500m前後）であり、白山三の峯から南に連なる岐阜県境は、県内屈指の野鳥の宝庫といえる。私は、昭和38年から県林務課の鳥獣保護担当の技師として奉職して以来、今日まで、国の鳥獣保護事業計画の基準による鳥獣生息状況調査地として、鳩ヶ湯から小池を経て刈込池、三の峯附近、さらに冬期は経ヶ嶽（1,625m）南部の嵐谷附近の鳥獣生息調査事業に従事してきた。同地は、以前にも数回調査を行つたことがあり、奉職後の年間6回（5～6月および11～12月各3回）の調査を含めて合計18回の調査を行つた。この調査において記録された鳥類は次のとおりである。個体別の記録数や、詳細な知見等は割愛して一応の参考として供したい。なお、この調査事業による調査の方法は、同一箇所について、幅員約40米、延長約4糠について見聞する鳥類を、1糠当たりについて約1時間を費して記録したものであり、記録数はともかくとして、鳥相については、かなり正確なものが得られたと考えている。しかし、今後追加されるものがあると思われる所以後日を期し、精度の高い調査を行いたいと思つている。

◎夏は夏鳥、留は留鳥、漂は漂鳥、冬は冬鳥を示す。

番号	目	科	鳥名	渡り種別	摘要要
1	コウサギ目	サギ科	ミゾゴイ	夏	少ない
2	ガンカモ目	ガンカモ科	オシドリ	留	普通 12月約70羽の群を観察したことがある
3	ワシタカ目	ワシタカ科	イヌワシ	留	不確実な遠方の飛翔観察1例
4			ハイタカ	留	少ない
5			ツミ	漂	少ない
6			トリビ	留	少ない
7			サシバ	夏	普通
8	キジ目	キジ科	ヤマドリ	留	普通
9	ハト目	ハト科	キジバト	留	普通
10			アオバト	漂	稀

番号	目	科	鳥名	渡り種別	摘要
11	ホトトギス目	ホトトギス科	ツツドリ ホトトギス	夏 夏	少ない 普通
12			ジユウイチ	夏	少ない
13			アマツバメ	夏	少ない
14	アマツバメ目	アマツバメ科	ヤマセミ	留	少ない
15	ヒスイ目	カワセミ科			
16			アカショウビン	夏	普通
17	ブツボウソウ目	ブツボウソウ科	ブツボウソウ	夏	少ない
18	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ アカゲラ	留 留	少ない 少ない
19			コゲラ	留	普通
20					
21	エンジャク目	ツバメ科	ツバメ	夏	稀
22		カラス科	ハシボソガラス	留	少ない
23			カケス	留漂	普通
24		シジユウカラ科	シジユウカラ	留	普通
25			ヤマガラ	留	普通
26			コガラ	留	少ない
27			ヒガラ	留	普通
28			エナガ	留	普通
29		ゴジユウカラ科	ゴジユウカラ	留	少ない
30		サンショウクイ科	サンショウクイ	夏	少ない
31		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留	多い
32		カワガラス科	カワガラス	留	普通
33		ミソサザイ科	ミソサザイ	漂	普通
34		ツグミ科	トラツグミ クロツグミ	留 夏	少ない 少ない
35					
36			シロハラ	冬	普通
37			マミチャジナイ	冬	普通
38			ツグミ	冬	普通
39			ジョウビタキ	冬	少ない

番号	目	科	鳥名	渡り種別	摘要
40		ウグイス科	ルリビタキ	漂	少ない
41			キクイタダキ	留	少ない
42			メボソ	夏	少ない
43			センダイムシクイ	夏	少ない
44			ウグイス	漂	普通
45			ヤブサメ	夏	普通
46		ヒタキ科	サンコウチヨウ	夏	少ない
47			コサメビタキ	夏	少ない
48			キビタキ	夏	普通
49			オオルリ	夏	普通
50			イワヒバリ	漂	少ない
51		セキレイ科	ピンズイ	漂	少ない
52			セグロセキレイ	漂	少ない
53			キセキレイ	漂	普通
54			モズ	留 漂	少ない
55			チゴモズ	夏	少ない
56		メジロ科	アカモズ	夏	少ない
57			メジロ	漂	普通
58			キンバラ	留	少ない
59			アトリ	冬	少ない
60			イカル	留	普通
61			カワラヒワ	留	普通
62			マヒワ	冬	普通
63			ベニマシコ	冬	少ない
64			ウソ	漂	少ない
65			アトリ	冬	少ない
66			アオジ	漂	少ない
67			ホオジロ	留	多い
68			カシラダカ	冬	少ない
69			クロジ	漂	少ない

合計 11目 27科 69種

なお、明らかに生息していると思われる種類、（例えはヨタカ、フクロウ、コノハズクなど）もあるが、夜間の調査、あるいは、採捕による確認などの機会が得られないため記載しないことを附記する。また、摘要の多い、少いなどの記載は概略を示すもので、季節により、あるいは環境により、記録数の変化が著しく、特に渡り鳥のような場合、全く記録されない年もあるかと思えば、多數の群集を見かける年もあるなど、一概に数の多い少ないによつてその種類別の個体数を推計することはどうかと思われるが、あくまで参考として附記した。